



## 2024年10月期 2Q 決算について想定されるご質問に対する回答

本資料は、本日開示した2024年10月期 2Q 決算について想定されるご質問に対する回答を皆様のご参考として開示するものです。

Q1：売上、営業利益ともに前年同期に比べて、大幅な増収、増益ですが、なぜでしょうか。

A1：店舗 QSCA の継続的な向上により、価格改定を行った後も客数が落ちることがなく、既存店の平均月商が過去最高を更新しています。結果として、既存店の売上高昨年対比の上期想定 110%（通期想定 105%）に対して、上期実績が 111.4%と想定を上回る水準となり、大幅な増収、増益を達成することができました。（決算説明資料 4、5、6 ページ参照）

Q2：粗利率が前年同期比で低下していますが、想定通りでしょうか。

A2：原材料価格の上昇は一服し、粗利率は前期 2Q 以降は横ばいと想定しておりました。当上期の実績としても想定通りの結果となりました。（決算説明資料 13 ページ参照）

Q3：2024年1月に価格改定をしているようですが、その理由と改定幅、その後の客足はいかがでしょうか。

A3：2024年1月1日に全ブランド平均で約 10 円（約 1%）アップの改定を実施いたしました。改定後、客数は昨年対比で 100%を超える状況であり客足への影響はございませんでした。

弊社は、原価と人件費の両面からコスト上昇分を吸収できるように価格改定させていただくという方針のもと運営しております。競争力のある人材を確保するため、2024年1月に給与水準の大幅 UP を行い、それにとまなう運営コストの上昇に対して価格改定を実施させていただきました。（決算説明資料 7 ページ参照）



Q4：店舗を改装しているようですが、意図を教えてください。

A4：社内での検証の結果、スープを保温する温度を一定にすることが、スープクオリティを安定させることが分かりました。スープを保温する際に、ガスよりもIHを使用した調理器具の方がスープの保温温度を容易に一定にすることができるとともに、CO2 排出量が減少することから、IH の導入を進めております。主力の「町田商店」では、新店の開店時よりIHを導入し、既存店は改装によってIHと最新レイアウトを導入する工事を順次実施しております。IH化によるスープクオリティの安定化と、最新レイアウトによる生産性アップ効果を狙っております。（決算説明資料 8 ページ参照）

Q5：出店の状況はいかがでしょう。

A5：当上期での進捗は、直営店、FC・プロデュース店を合計して純増 28 店舗（年間純増目標 87 店舗）と、年間目標に対して若干遅れた進捗となっています。ただし、幸楽苑 HD が運営していた店舗の賃貸借契約の締結は順調に進んでおり、年間の出店計画のキャッチアップに向けて順調に進捗しております。（決算説明資料 15、16 ページ参照）

Q6：人材確保の状況は、いかがでしょう。

A6：人材確保のため様々な施策を実施 or 計画しており、徐々に効果は出てきております。採用サイトを更新するとともに、2024 年 1 月に賃上げを実施しております。また、キャストからの正社員採用では、上期の実績で 10 名が入社しております。また、海外での採用は 10 名の内定を出し、現地の日本語学校でトレーニングを実施しております。また、退職率は前年同期の 20.1%から当上期は 17.1%に低下しており、低減傾向にあります。退職率の低減（働きやすさと働きがいの両立）と採用力の強化（応募者数増加と内定率向上）に、引き続き取り組んでまいります。（決算説明資料 10 ページ参照）



Q7：通期の業績予想を修正していますが、どういう意図でしょうか。

A7：通期の業績予想を修正した意図は大きく3点です。

①上期の上振れ分を加味しました。

②期初の出店計画と実際の出店見込みに差異が生じているため調整しました。特に、7月以降は多数の出店を予定しているため、その点を調整しています。

③足元の業績動向を反映しています。具体的には、海外子会社の決算は3か月遅れで連結しており、実績が既に出ている経過月を調整しています。また、国内子会社の5月の月次決算も出ているため、その点も調整しています。

修正した通期の業績予想を達成できるように、様々な施策を取り組んでまいります。（決算説明資料 22 ページ参照）

Q8：下期のコストの見通しと、それに対する取り組みはいかがでしょうか。

A8：当上期はコストの上昇は一服したものの、下期以降に関しましては、新聞報道などの通り、様々なコストの上昇を予想しております。円安の進行に伴う輸入食材の高騰、天候不順による不作に伴う国産食材の高騰、水道光熱費の高騰（激変緩和措置の終了、再エネ賦課金の上昇、容量拠出金の創設）、賃金上昇などを想定しております。

弊社は、店舗運営コストの上昇分を、随時、価格改定させていただくという方針でこれからも運営する予定です。（決算説明資料 22 ページ参照）

以上